

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2011年3月22日
113号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

東北関東大震災の影響は横浜にも

共に頑張ろう！

—よつばホーム・第2よつばホーム通常通りに活動—

お蔭様で 私たちは みんな無事です。

日々流れる 大震災のニュースを見ながら、

あの磯の香のする美しいふるさとに戻る日はいつ来るのかと、

日本中が、“自分に今できる事はなにか”と

思っているのではないのでしょうか。



私たちの生活にも少なからず影響が出ましたが、大きな変化に弱い障害者たちの日常を、

出来るだけ変えることなく、ホームで安心して過ごすために、みんな頑張っています。

* *

おしよせる津波のすざましきは、日に日にその爪あとが明らかにされ、亡くなった方たちも、22000人を越え、何々町に何人と細かく報じられるのを見るたびに、本当に一人ひとりの尊い命が絶たれたのだなど実感してつらいです。

予断を許さない原子力発電所のニュースにも、無事に終わらせるために命を懸ける人たちの涙があり...

ただ、安心材料ばかりの情報の後ろで何が起きているのか。あの“風の谷のナウシカ”をはじめとするアニメの世界を感じさせるような、こわさもあります。

新吉田地域交流バザー

中止のお知らせ

3月26日(土)に予定されておりました、港北区新吉田町でのグループホームよつばホーム地域交流バザーは、今度の東北関東大震災に伴う諸般の事情により、まことに残念ながら中止する事になりました。

ご後援いただいた皆様、ボランティアとしてご予定いただいた皆様や、ご来場をご予定くださった皆様には、お詫び申し上げるとともに、ご支援に対し心より感謝申し上げます。

尚、震災で被災された皆様に対して、心よりお見舞い申し上げ、当会でも、ささやかながらご協力の方法を考えて参りたいと存じます。

私たちの便利な生活は、原子力発電と言う大きな力に依存してきました。計画停電による生活の不便、交通機関の惨憺たる現状、企業の活動の停滞と混乱...そして福島原発の周辺地域に暮す罪も無い人たちにもたらしている3重苦の被災が、私たちにもその責任を問うているのではないのでしょうか。

* * *

さて、こんな状況の中ですが、私たちの支援するグループホームは、平常どおり活動しています。デリケートな入居者たちは、世の中の異常な雰囲気の中で、少なからず精神的に疲れはありますが、今のところ不自由も無く過ごせる事には、感謝しています。

ただ日中過ごす場の活動ホーム「しもだ」が休館にしたり、その後も受け入れを半分に減らしたり、給食の中止、送迎の中止ときわめて不確定な中で、グループホームはその分、日中のスタッフの手当てをしたり、送迎を確保したりと暮らしを守る努力が必要でした。

まさに、生活の場であることを、再認識した事態でした。

はからずも先日から話しを進めてきた、活動ホームとの連携の中での、緊急時の対応として、応援のスタッフを派遣してもらえたのは、ありがたかったと思います。

よつばホームのスタッフたちの中には、被災地に実家のある人たちもいますし、遠くから通ってくる人たちもいます。そんな中で、ガソリンを調達し、定期的に配達する夕食以外の食材を調達し、停電にそなえ...と、みんな力を合わせて奮闘中です。

この経験を生かし、生活の場として腰をすえ、次への備えも組み立てていきましょう。

港北区の
作業所連絡会
交流会で歌う
(2011.3.11)



「活動ホームしもだ」のメンバーは、区内の障害者団体の交流会で、トップを飾りコーラスを披露しました。(指揮・川井さん、伴奏・赤瀬さん) この約30分後、東北関東大地震が襲い、会場のラポールも大きくゆれました。

めがねの声



◆みんな大変なときだけ...

たまたま、港北区の作業所の皆さんとラポールシアターで、交流会をしているとき、今度の大地震にあいました。

いつまでたっても大きく揺れていました。

舞台の上や、私のすわっていた座席の上で、天井のライトが大きく揺れ、舞台の下のイスなどをいれてあるところの戸が、前に倒れてきてびっくりしました。

私は初めての体験でした。

だんだん頭の中が白くなって、誰が車いすを押して下さって外へ出たのかわからないぐらいでした。だんだん顔も青くなっていたといわれました。

私は少し泣きたいぐらいの気持ちになりました。

少しゆれるのが収まって、外のロビーに出ると、また少しづつゆれていて、もう一度大きくゆれました。

私は、たまたま母が来ていたので、コーラスの先生が『友子さんよかったね。お母さんに見に来ていただいて。安心ね』と言われて、急にほっとしました。そして早く家に帰りたいなと思いました。

帰ってテレビを見て大きな地震があったことをしりました。それからは、ずっとテレビをみていました。家や樹や車が小さなおもちゃのようにひっくり返りぶつかりあって倒れたり、流されていきました。人間の力ではどうにもならない、津波の怖さを見ました。

* * *

いつも思いますが、お年寄りや、歩ける人たちのようすは、テレビでたくさん映していますが、障害者のようすは、わかりません。どうしているかな、と心配になりました。満員の避難所で、私なら車イスの上でもどれぐらい頑張って過ごせるかなと思ったけど、重度の障害者は小さくなっては眠れないので大変です。Y君だったらどうだろうか、Sさんだったらどうなるかといろいろ考えてしまいました。

とても寒いのも大変ですが、暑い夏だったらもっといろいろ大変だったかも知れません。地震のあった地方だけでなく、私たちも、計画停電になりましたが、呼吸器や痰取り器などの医療器械をつけたり、電気がどうしても必要な生活をしている人たちは、とても困っています。

いま、みんなとても大変です。楽しみにしていた行事は、みんな次々と中止になっています。歩けない人たちにとっては、車は足と同じです。ガソリンも足りなくて、心配しながら動いています。

なんとなく心が暗くなっていますが、暗いながらも頑張って動いているのです。みんなの応援で、出来るだけ普通に暮すことが、私に出来る大切な事だとおもっています。

大原友子

今月のよつばホーム

よつばホーム

寒さの中に春を感じる頃となってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

3月に入ってからも積もるくらいの雪が降ったり、みんなの体調管理には気をつけたいと思います。そして早いものでもうすぐ年度末を迎えます。

3月3日は桃の節句、ひな祭りです♪

ささやかではありますがよつばホームでもひな祭りを開きました。

この日の夕食のメインはちらし寿司にひな祭りケーキ☆ 美味しいごちそうを少し我慢しながら、みんな食前に入浴を済ませ準備万端。そしていよいよ夕食の時間です。

「いただきます！」と同時に『次郎お内裏さま』がケーキをロックオン!

「今日は女の子の日だから勢津子さんと花岡さんからケーキ配りますね。ちゃんといちごもみんなの分ありますから。」と話して納得。(o^o)!

「あかりをつけましょ ぼんぼりに～♪ お花をあげましょ 桃の花～♪」

「いくつになっても女の子の気持ちは持っていたいわね～。v((´ω`))」
など話しながら、みんなで楽しいひな祭りの夜を過ごしました。

* * *

東北関東大地震被災者の方へお見舞い申し上げます。

そして亡くなられた方のご冥福をお祈りします。

第2よつばホーム

最近は大きな地震があったり大変でしたが、みんな思い思いの生活を過ごしています。

3月3日はひな祭りということもあり皆さんでケーキを食べました!

女性入居者の章子さんと友子さんは、事前にひな人形を飾りこの日を待ちわびていました。ひな祭り当日は皆で買ったケーキを食べ皆で楽しく過ごしました。

3月11日は横浜ラポールにてイベントがあり、しもだのみんなと参加しました。

ラポールで地震に遭い怖い思いをして帰宅するまで心配でしたが、「ただいま」の笑顔を見て安心しました。

阿部さんはお気に入りのスタッフに声かけたり、山田さんも元気な笑顔を見せてくれたり、友子さんは自分の好きなことをされ、章子さんはスタッフと一緒に好きなテレビ番組をみてゆっくり過ごしたりと、みんないつも通りの時間を過ごしています。

もうすぐ4月。桜が咲いて「お花見に行けたらいいね♪」とみんなで話に花を咲かせました。

最後に、今回災害にあわれ亡くなられた方たちのご冥福をお祈りします。

